

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|------------|
| ○事業所名 | animo八女町家 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 1月 28日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) | 14名 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 1月 28日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) | 7名 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | R8年 1月 28日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象数) | | (回答数) | 16件 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 26日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 児童一人ひとりの特性を丁寧に捉えた支援と、信頼関係を基盤とした関わりにより、安心して過ごせる環境づくりができています。 | 視覚的支援(カード・写真等)や活動の構造化など、児童が理解しやすく安心して取り組める環境づくりを意識している。 | 訪問支援の目的や支援内容、頻度等についての事前説明や共有をより丁寧にを行い、見通しを持っていただけるよう改善していく。 |
| 2 | 訪問支援を通して学校・園と連携し、児童の様子や成長、課題について具体的に共有できていることや、専門的視点からの助言が現場の気づきや支援の見直しにつながっている点も評価されている。 | 訪問時には児童の様子を細やかに観察し、実践しやすい具体的な支援方法や関わり方を提案するよう努めている。 | 個別支援計画の説明や確認の徹底、報告内容の分かりやすさの向上に努めている。 |
| 3 | 保護者への丁寧な報告や情報共有により、安心感につながっていることも強みの一つと考える。 | 訪問後の報告や日々の連絡を通して、関係機関や保護者と継続的に情報共有を行い、支援の方向性をすり合わせることを大切にしている。 | 訪問先の状況に配慮しながら、優先順位を整理した実践しやすい助言や、その場での具体的なフィードバックの充実を図る。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 訪問支援の目的や内容、頻度等についての事前説明や共有が十分でない場合があり、利用者や関係機関にとって見通しが持ちにくい点が挙げられる。 | 訪問先や保護者の状況(多忙さや環境)に配慮する中で、説明や助言の機会が十分に確保できていないことが要因の一つと考えられる。 | 訪問支援の流れや目的、頻度等についての説明資料や手順を整備し、初回時から共通した説明が行える体制を構築していく。 |
| 2 | 個別支援計画や訪問後の報告内容について、分かりやすさや伝わり方に差が生じている点や、助言のタイミング、具体性において十分でない場面があることも課題。 | 支援内容や情報共有の方法が職員ごとに異なる場合があり、伝達のばらつきにつながっている可能性がある。 | 個別支援計画や報告書の様式・伝え方の統一を図り、誰にでも分かりやすい情報共有を徹底する。 |
| 3 | 訪問支援の実施や連絡体制において、調整や周知が不十分となるケースが見られる。 | 訪問支援の役割や進め方についての共通理解が不十分のまま支援が開始されることも、認識のズレを生む要因となっている。 | 職員間での情報共有や振り返りの機会を充実させ、助言の質やタイミングの向上を図る。 |